

■インド：太陽光発電、電力価格が過去最安値を記録

2017年5月10日付の報道によると、ラジャスタン州での太陽光発電建設プロジェクトの落札価格が、先月のアンドラプラデシュ州でのプロジェクト落札価格 3.15 ルピー（5.44 円）を下回る 2.62 ルピー（4.63 円）／kWh になり、発電公社 NTPC の石炭火力発電所の卸電力価格 3.20 ルピー（5.66 円）／kWh を大きく下回った。今後、国内の金利が低下すると、入札価格がさらに下がるという見方もある。政府は 2022 年までに 1 億 7,500 万 kW を太陽光・風力・バイオマス・小水力発電でまかなう目標を掲げており、インド中央電力庁が 2016 年 12 月に公表した報告書によると、再生可能エネルギーの設備容量は 2027 年までに 2 億 7,500 万 kW になると予測している。同報告書は、建設中の 5,000 万 kW 分を除くと、少なくとも今後 10 年間は石炭火力発電所の新設は必要ないとしている。